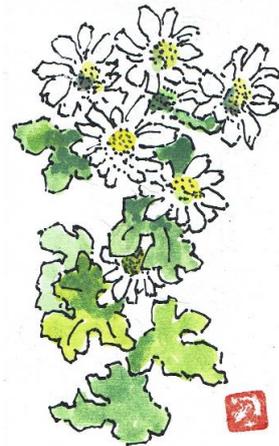


道

2019・12・4

通信 No 1563



本日はヴォイトレ 佐伯先生です
後半の練習は3部中山先生

～第1部 青山義久を偲ぶ～

特別団員募集状況

青山義久 (1948 - 2015)

「本当に力強いうたは ほんとうにやさしいうたと 同じものじゃあないだろうか そこらへんを ずっと つきつめてみたいデス」と語っていた青山義久は



2015年、67歳で急逝、早や5年が過ぎました。

東京教育大学理学部在学中にアコーディオンを始め、1970年音楽集団「麦笛の会」に参加してプロ奏者となりました。以降、演奏、作詞、作曲、編曲、指揮、教育など幅広い音楽活動を展開しました。1979年、第2回全日本アコーディオンコンテストで銀賞、その後、個人リサイタルやうたごえ運動に身を投じ、将来を期待されていました。代表曲「雨あがり」「俺たちの詩 Part 1」「戦車はうごけない」などの他、歌曲集「青山義久うたの本」、アコーディオン教則本、CDアルバム「風のゆくえ」などの出版物も多数あります。

合唱団「道」には、1985年からアコーディオン奏者として、2011年からは指揮者として合唱指導をしていただきました。

11月現在 約10人程の申込状況です
目標は25名です。

皆さんの周りの方や退団した団員にお声をかけて頂きたいと思います。

《演奏曲》

さびしいアコーディオン・波止場の夜
・百万本のバラ

《参加費》 4000円

(楽譜、練習用CD、当日入場料等)

《練習日程》

2月16日(日) (小坂幸世)

3月22日(日) (小坂幸世)

4月26日(日) (小坂幸世)

5月24日(日) (中山英雄)

6月7日(日) (ゲネプロ)

6月14日(日) 本番
演奏者全員
県立音楽堂

ロシアの民話「厳寒(ふゆ)の神さまマロースカ」は合唱団員による翻訳から手がけたオリジナル作品。団内試演を行い、構想から5年の歳月をかけて、曲間に台詞を入れて全6曲を完成させました。2015年合唱団「道」46周年定期演奏会で初演され好評を得ました。今回は台詞の部分を省略して再演となります。先生は演奏会終了後、間もなく帰らぬ人となりました。

※団員の皆さんからお知り合いの方へ是非お声掛けお願いいたします。

片づけは
アルトとテノール

1月 8日(水)	14:30~18:00	運営委員会	県民サポートセンター
1月 15日(水)	16:00~18:00	プログラム委員会	県民サポートセンター
1月 29日(水)	16:00~18:00	企画選曲委員会	県民サポートセンター